



平成 22 年 7 月 27 日

各 位

会 社 名 サイオステクノロジー株式会社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 喜 多 伸 夫
(コード番号 3744 東証マザーズ)
問 合 せ 先 執 行 役 員 (財 務 経 理 担 当) 小 林 徳 太 郎
電 話 0 3 - 6 8 6 0 - 5 1 0 5

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 2 月 1 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,300	10	10	△75	△865.01
今回修正予想 (B)	5,000	△340	△340	△360	△4,152.06
増減額 (B-A)	△300	△350	△350	△285	—
増減率 (%)	△5.7	—	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (平成 21 年 12 月期)	5,480	10	9	△33	△380.92

2. 修正の理由

当第 2 四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、厳しい状況が継続しているものの、一部の企業におけるクラウドコンピューティング^{(*)1}（以下、クラウド）やオープンソースソフトウェア^{(*)2}（以下、OSS）を活用した情報化投資には、底堅い動きが見られました。

このような中、当社グループでは中期事業戦略（平成 22 年 2 月 1 日「2009 年 12 月期 決算説明資料」にて公表）に基づき、「LifeKeeper」^{(*)3} や「SIOS Integration for Google Apps」^{(*)4} といった付加価値の高い重点製品・サービスへの注力を進めており、当第 2 四半期連結累計期間においては、本年 2 月 1 日公表の連結業績予想（以下、当初予想）と同等水準での推移となりました。

しかしながら、当第 3 四半期以降においては、昨年提供を開始した「OSS ワンストップソリューション」^{(*)5} の提供や、「SIOS Integration for Google Apps」を始めとする一部の製品・サービスの販売が、競争激化により想定に届かない見込みであることのほか、昨年現地法人を設立した中国での事業展開の立ち上がりが遅れていること等の要因により、売上高は当初予想を 300 百万円下回る 5,000 百万円に修正いたします。これらの売上高減少に伴う下期の当初予想に対する営業利益及び経常利益の減少は、170 百万円となる見込みです。

売上原価や販売費及び一般管理費においては、役員報酬の減額を含むコスト構造の見直し

を実施・継続する一方で、中期事業戦略に基づくクラウド分野への注力をさらに加速します。主に「SIOS Integration for Google Apps」に関連する技術・営業の両分野での人材拡充や、新サービス「CloudStation^(*)（仮称）」の当第4四半期でのβ版（試用版）リリースに向けた技術人員の確保やマーケティング活動の強化を予定しており、これらに係るコストを下期の当初予想に対して180百万円追加で見込んでいます。

以上により、営業利益及び経常利益は当初予想を350百万円下回り営業損失340百万円及び経常損失340百万円に、当期純損失は当初予想を285百万円下回る360百万円に修正いたします。

- (*)1) クラウドコンピューティング
コンピュータ処理をネットワーク（通常はインターネット）経由で、サービスとして利用できる新しいコンピュータの利用形態。
- (*)2) オープンソースソフトウェア（OSS）
ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。
- (*)3) LifeKeeper
SteelEye社の開発による、本番稼働のサーバーとは別に、同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うHA（ハイアベイラビリティ）クラスターソフトウェア。
- (*)4) SIOS Integration for Google Apps
Googleが提供する、メール、インスタントメッセージ、スケジュール管理、ワープロ・表計算等をパッケージにしたホスティング型アプリケーションサービス Google Apps とお客様の既存の情報システムを直接連携させるサービス。
- (*)5) OSS ワンストップソリューション
オープンソースソフトウェア（OSS）を活用した企業システムの構築におけるコンサルティングから開発、構築、保守サポートまでをワンストップで提供し、経営コストの削減を総合的に支援するサービス。
- (*)6) CloudStation（仮称）
アプリケーションやデータの統合的な管理・保護を可能にする、現在開発中の新サービス。本年3月、ドイツで開催された世界最大級の情報・通信技術の展示会「CeBIT」にて米国子会社 SteelEye 社の持つデータ複製技術を利用した機能の一部を公開しました。

（注）上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。また、上記金額は百万円未満切捨て表記しており、増減率は円単位で計算した後に小数点以下第2位四捨五入で表記しています。

以上